

関係各位

佐賀市教育委員会 教育長 東島 正明  
 佐賀市立小中一貫校思斉館 小学部校長 今泉 徹  
 中学部校長 川崎 智幸



平成30年度 佐賀市教育委員会「特色ある学校運営事業」指定【小中一貫教育】

## 研究発表会のご案内（第二次）

初秋の候、皆様におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では、平成22年度から佐賀市教育委員会「特色ある学校運営事業」の指定を受け、「確かな学力と豊かな心を育む小中一貫教育の研究」をテーマに、校舎隣接型小中一貫校として研究を進めてまいりました。

今年度は9年目の集大成の年度にあたります。このたび、研究の一端をご披露し、参観の皆様とともに、「小中一貫教育の効果とは」 「小中一貫教育で育まれる資質・能力とは」等について学びあいたいと願っています。ぜひ、ご参会くださいますようお願いいたします。

### 【研究主題】

## 確かな学力と豊かな心を育む小中一貫教育の研究 ～思斉学でつなぐカリキュラムマネジメントを通して～

1 期 日 平成30年10月5日（金） 13:15～16:35（受付13:00～）

2 会 場 佐賀市立小中一貫校思斉館小学部・中学部

3 日 程

	13:00	13:15		14:15		15:05	15:15		16:00	16:35
受付	公開授業 (小45分) (中50分)		移動	授業研究会 (50分)		移動	全体会(75分)		閉会	
							概要説明 (15分)	指導助言 (60分)		

4 指導助言

講師

佐賀大学教育学部附属教育実践総合センター 准教授 中村 尚志 先生  
 「これからの社会を生き抜く児童生徒を育む小中一貫教育（仮題）」

### 【講師紹介】

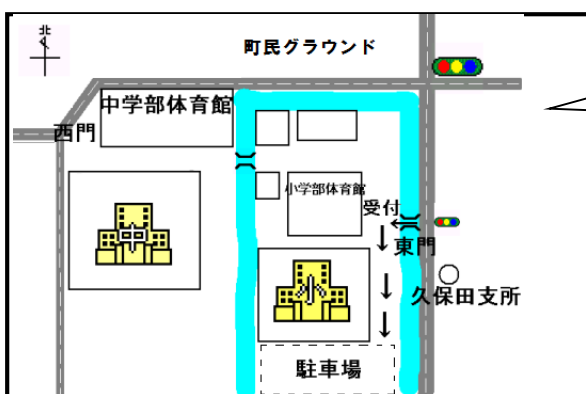
22年間、公立小学校・特別支援学校・附属学校でのご勤務後、3年間の行政経験（東部教育事務所）を経て現職に。その間、文部科学省国立教育政策研究所小学校編特別活動リーフレット作成協力委員（H24）、小学校編特別活動指導資料作成協力委員（H25）を務められる等、特別活動における功績が

大きい。また、小・中学校と地域とが連携した道徳教育の実践や、学びの連鎖が生まれる義務教育9年間のカリキュラム研究などにも明るく、多くの学校への指導助言を行っておられる。

## 5 公開授業

学年・学級	場所	授業者	教科, 単元名等	指導助言
2年1組	小学部 1階多目的室	(小) 森 洋平	生活科 「うごく うごく わたしのおもちゃ」	佐賀大学教育学部附属教育 実践総合センター 准教授 中村 尚志 先生
本単元は、「身近な生活に関わる見方・考え方」を生かしながら、自立し生活を豊かにしていくことをねらいとしています。保育園児が楽しめるようにおもちゃの遊び方やルールを友達と話し合いながら改良していくを通して、自分の成長と周囲との関わりや多様性が高まると考えます。本時では、「学習ツール」「学習モデル」を活用し、遊びの中で思考・表現をさせ、楽しみながら遊びを創り出そうとする子供の姿を目指します。				
3年2組	小学部 3年2組	(小) 原 広美	社会 「農家の仕事～久保田町自まんのきゅうり～」	佐賀市立本庄小学校 教諭 榎津 優規 先生
本単元は、「社会的事象の見方・考え方」を働かせながら、きゅうり農家の仕事を調べ、そのひみつ（工夫や努力、思い）に気づくことをねらいとしています。久保田の主要産業の1つである農業を通して地域への誇りや愛着を育てることができると考えます。町内の店に置いてもらえるようなポップ作りに向けて、本時では久保田きゅうりのひみつが伝わるようなキャッチコピーを作ろうとする子供の姿を目指します。				
6年2組	小学部 6年2組	(小) 西原 宏一	国語 「答えは、〇〇にある」 問いを立てて、久保田町の魅力を伝えよう	佐賀大学教育学部 教授 達富 洋二 先生
本単元は、「言葉による見方・考え方」を働かせながら、複数の資料を活用し、自分の考えが伝わるように発表する力をつけることをねらいとしています。地域の方々に自分たちの考えを伝えることを通して、地域社会の構成員であることを自覚し、社会に関わろうとする意欲が高まると考えます。本時では、聞き手の興味をひきつけるために、話し方や資料の見せ方について議論する子供の姿を目指します。				
7年	中学部 体育館 7年1, 2組 少人数1 技術室	(中) 倉富 前田 松尾 横尾 福田 太田	総合的な学習 「郷土学習 ～浮立体験を通して 学ぶ久保田町の伝統文化～」	白石町立福富中学校 元教諭 田島 隆一 先生
本単元では、「思斉学(郷土学習)」を中心に働かせながら、地域の伝統文化を受け継ぐ「人・もの・こと」とのかかわりや自然との出会いなど、地域に根ざした直接体験を重視した活動を行い、活動から感じ取ったこと、学んだことを表現する力や自分の考えを相手に提言する力、自ら課題に気づき、解決に向けての方法などを考え実践していく資質や豊かな心を育てる事を目指して久保田町の伝統芸能である浮立の体験活動を設定しています。それぞれの担当に分かれ、練習をし、地域の方から指導を受ける中で、自分たちが地域の中でどのような存在なのかを知り、後継者として伝統文化やふるさとの思いを受け継ごうとする子供の姿を目指します。				
9年1組	中学部 9年1組教室	(中) 石動丸 悦子	英語 「Unit 4 To Our Future Generations」	佐賀県教育センター 所員 佐藤 香代 先生
本単元では、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働かせながら、避難訓練や災害について何が書かれているか読みとり、災害発生時に自分に何ができるか考え、単元ゴールとして災害の際の行動について発信することをねらいとしています。本時では、前時に書いた内容をグループ内で発表し、アドバイスをしあいながらわかりやすく伝える方法について考え、それを生かして個々で続きを書きます。これらの活動を通して、伝える相手を意識して、既習事項を適切に使いながら、自分の持っている情報や考えをわかりやすく伝えようとする子供の姿を目指します。				

## 6 会場までのアクセス



東門から入り、小学部運動場に駐車してください。  
受付は小学部の体育館です。

※詳しくは思斉館のホームページをご覧ください。  
小学部 <http://cms.saga-ed.jp/hp/shisei-e/>  
中学部 <http://cms.saga-ed.jp/hp/shisei-j/>

## 佐賀市立小中一貫校思斉館 研究発表会参加申込書

※送信票なしでFAXにて送付いただくか、メールにて学校宛送付してください。

思斉館小学部 メールアドレス sshisei@city.saga.lg.jp

FAX番号 0952-68-3667

思斉館中学部 メールアドレス cshisei@city.saga.lg.jp

FAX番号 0952-68-2989

学校名 (所属名)	
送信者氏名	

	職名	参加者氏名	参加授業研究会
例	教諭	久保田 花子	小学部 2年1組
1			
2			

(2) 申し込み締切

9月21日(金)

(3) 問い合わせ先

◆佐賀市立小中一貫校思斉館 小学部教頭 橋口 繁美

〒849-0203 佐賀市久保田町大字新田1207番地

Tel 0952-68-2151 Fax 0952-68-3667 E-mail sshisei@city.saga.lg.jp

◆佐賀市立小中一貫校思斉館 中学部教頭 下山田 隆

〒849-0203 佐賀市久保田町大字新田1217番地

Tel 0952-68-2161 Fax 0952-68-2989 E-mail cshisei@city.saga.lg.jp